

なかつか 亮



2015年10月18日(日)

NO479

区議控室 Tel 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

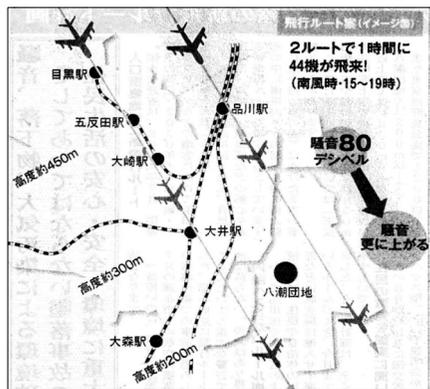
Tel 3773-3231

羽田増便による住環境の悪化、落下物…広がる不安に応え

市街地低空飛行に品川区は反対を



品川第2区民集会所で行われた反対集会には住民約70名が集まり、東京都議会に提出する反対署名が提起されました。



〔新ルートとは〕南風運行時に2本の経路が午後3時から7時の間に1時間あたりの44機も飛行する計画案のこと。

「やめてほしい」の声をはじめ、大井町アトレ、南大井文化センター、八潮地域センターなどで説明会（パネル展示型等）を開催し、合計1060名の住民が参加しました。

会場では「調布飛行場の事故でも明らかのように住宅地の上を飛ぶのは危険。やめてほしい」との意見や、アパートの大家さんからは「ローンも残っているし家賃が下がったら、死活問題です」との声も寄せられました。

品川区議会では昨年12月に「市街地に影響を及ぼさないための方策」を求める国への意見書を全会一致で可決。9月には特別委員会が国の意見交換を羽田空港会議室で実施しました。

自民党からは「ルートを変更してほしい」と要望。国は「あくまで、まだ案です」裏

住宅地を新たに飛行する羽田新飛行ルート案に不安がさらに広がっています。国土交通省は2020年導入をめざし各地で説明会。共産党は区議会会で「品川区長は反対を表明し、住民と共にオール品川で計画撤回を求めよう」と提案しました。

東京タワーより低い高度で大井町を通過

と説明。共産党より「計画を中止してほしい」と要望。国は「計画は、案の状態なので中止するような決定したものは無い」と説明。何だか煮え切らない説明でした。

また「市街地上空での重大事故発生時の対応は」「着陸時の落下物は、どのあたりが多いのか」「南風時の計画案は2ルートそのままか」と質問。国は「トランプ回避ルートは一般的にはあらかじめ決まっている」「落下物の原因はさまざま。未



然防止の徹底が解決策」「南風時その①その②と、2ルートの計画案を今でも提示している」と説明がありました。

計画はまだ「案」

国交省

国交省は「あくまで案ですので、まずは皆さんのご意見を伺う段階です」と「案」を強調。決定はこれからだと繰り返し説明します。

また新ルートについて南風時の対応は市街地を通過するルートと海上を通過するルートの2案が今でもあることを確認。多くの説明会にて品川を低空飛行するルートのみが示されていますが、実はこれとは別に海上ルートも「案」として残されています。その他、事故発生時の対応など、

不明確な点があります。浮き彫りになりました。

区長は反対を

共産党は新ルートへの賛否を表明しない区長の姿勢を区議会でたどしました。

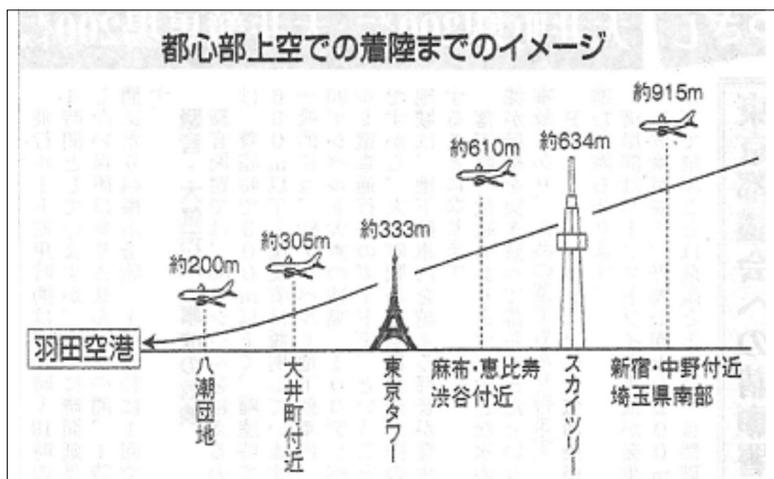
◆共産党「安倍首相は地元の理解を得て進めると国会で述べている。だからこそ地元品川が理解が得られていない事を示すことが重要。区長は反対表明を」

◆品川区「今は国が説明をして、双方向のやり取りをしている段階。何か表明する段階ではない」

区の説明は、正直よくわかりません。「双方向のやり取り」なら、区長は区民を代表して反対を表明すべきではないでしょうか。計画撤回を求め頑張ります。

計画へのご意見、ご要望などお聞かせ下さい
反対署名のご協力を
なかつか亮

メール
ryo@nakatsukaryo.net
FAX
3778-3088



次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

11月6日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231